

「東アジア文化都市2023静岡県」の推進

1 春の式典（5月2日）



【記念撮影】 文化都市2023静岡県 春の式典



【韓国芸能団】



【フィナーレ】



好天に恵まれた5月2日、東アジア文化都市2023静岡県の春の式典が、600人余りの観客を招きグランシップで盛大に開催されました。式典では、文化やスポーツで交流をしていくことを確認し、全州市の舞踊団による迫力のパフォーマンスや梅州市、成都市の美しい芸能団の映像で観客を魅了し、富士の詩の舞踊でフィナーレと、今後の東アジア文化都市の盛りあがり期待させる式典となりました。式典後には、招待客が駿府公園に移動し、SPACの天守物語の特別公演を観覧。幻想的なシーンに感嘆しました。

駿府公園
へ移動



【オープニング】



2 中国・韓国の式典



静岡県に先駆けて、4月13日には中国・梅州市で、4月26日には韓国・全州市で式典が開催されました。

梅州市は、上海事務所職員が参加しました。

全州市には出野副知事以下の行政団と県立劇団SPACが参加し、SPACは「羽衣」を上演し、絶賛を浴びました。

全州市は、ユネスコの食文化創造都市であり、全州ビビンバは有名。セブンイレブンのおにぎりにもなっています。食文化での交流も期待できます。

なお、中国・成都市の式典は6月を予定しています。



3 交流団のおもてなし



【熱烈歓迎】



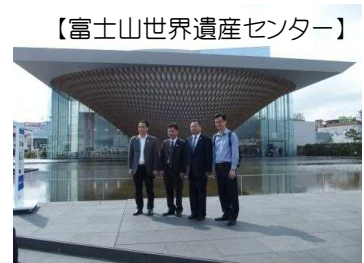
【知事表敬】



【富士山を背景に記念写真】



【バンダイホビーセンター視察】



【富士山世界遺産センター】



【茶の都ミュージアム視察】

式典のため訪れた梅州市、全州市の訪問団には、前日の熱烈歓迎からの表敬、夜のレセプションや視察で「おもてなし」しました。静岡のホビーやお茶を体験し、道中では、富士山もきれいに顔を出し満足した様子でした。特に、梅州市団は、サッカー施設の清水のトレーニングセンターを視察。今後のサッカー交流への足がかりとなりました。



【清水トレーニングセンター視察】

4 広報活動の推進①（各種イベントとのコラボレーション）



【東京ガールズコレクション】



【エスパルスvsジュビロ戦での動画放送】

1月以降、本格的な広報活動が開始できるまで、県民にたく東アジア文化都市を知って頂くため、様々なイベント機会においてPR活動を行いました。芸術はもちろん、文化を広く捉え、スポーツやホビーでも、様々な手段で観客にアピールしました。

『静岡県のサッカーは文化だ！』と『静岡県のゴルフは文化だ！』パネルを作成。



【三霊山締結式】



【静岡ホビーショー】



【女子プロゴルフ大会にブース出展】

5 広報活動の推進②（メディアプロモーション）



【スタート】⇒ 【静岡の魅力芸術・スポーツ・食文化3タイプで発信】

3月からは、本格的な広報活動を開始。芸術・スポーツ・食文化の3種類のポスターが街を飾り、駅広報やTV番組（とびっきり静岡土曜版）28回の特集、駅前などの都市装飾も始まりました。

SNSもホームページの充実やインスタグラム、『ドクトル・ケンリッジのYOUTUBEチャンネル』など積極的に発信しています。



【静岡駅改札前】

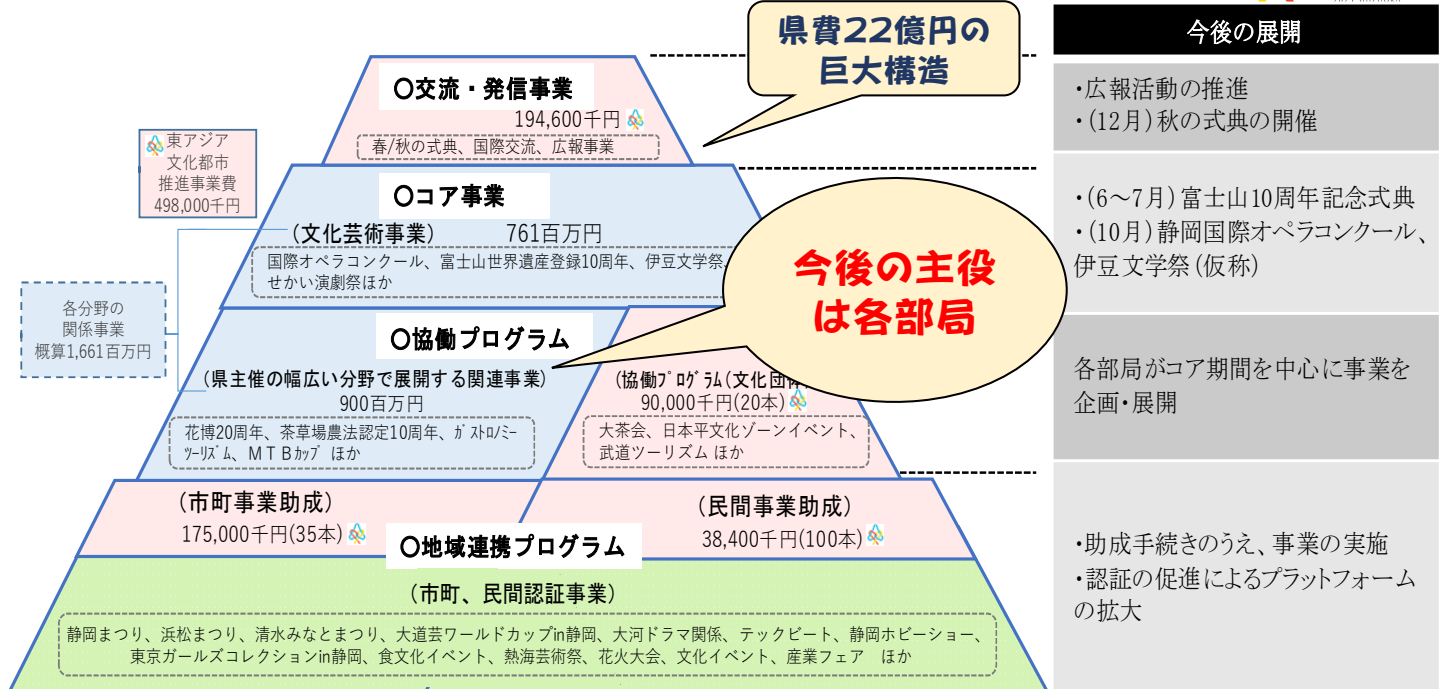


【Instagramによる魅力発信】



【ドクトル・ケンリッジYouTubeチャンネル】

6 ブランドプラットフォームの構造



東アジア文化都市プラットフォームは、県費だけで約22億円の巨大構造です。トップの春の式典後は、2層、3層目の各部局が行う県主催事業が主役になっていきます。市町、民間助成事業も6月中には揃い、目標の500本を超える事業が一気に展開されます。民間の認証事業も着々と増加していく見込みです。

7 今後の展開

5月3日-4日
グランシップ
東アジア文化交流フェア
会場 / グランシップ (静岡市駿河区)

5月3日~5日
浜松まつり (麻揚げ/御殿屋台)
会場 / 中田島麻揚げ会場 (濱州灘海浜公園白羽球技場)、市内中心会場 (JR浜松駅周辺)

5月3日~6日、5月27日・28日
ふじのくに野外芸術フェスタ SPAC『天守物語』
会場 / 駿府城公園 (静岡市葵区)、浜松城公園 (浜松市中区)

5月4日~6日
ストリートシアターフェス ストレンジシード静岡
会場 / 駿府城公園、静岡市役所・葵区役所など (静岡市葵区)

5月13日・14日
静岡ホビーショー
会場 / ツインメッセ静岡 (静岡市駿河区)

5月24日
静岡県・韓国忠清南道 友好協定締結10周年記念公演
会場 / グランシップ (静岡市駿河区)

6月7日~11日
シズオカ(KAGU)メッセ2023
会場 / ツインメッセ静岡 (静岡市駿河区)

6月22日
富士山世界遺産登録10周年記念式典
会場 / 東京国際フォーラム (東京都千代田区)

10月29日~
静岡国際オペラコンクール
会場 / アクトシティ浜松 (浜松市中区)

12月
閉幕

9月~11月
中韓との交流を含む文化芸術イベントを集中的に実施

11月
秋の式典

7月1日~3日
富士山世界遺産10周年記念国際シンポジウム
会場 / 富士市文化会館 (富士市)

ここに掲載の他、年間を通じて500本以上のイベントを展開します。今後行われる各イベントについては、順次掲載・更新を予定しています。

詳細はHPまで
QRコード



今後のスケジュールは、とにかくホームページに多くの事業が掲載され、多彩に重層的に、東アジア文化都市文化事業が芸術回廊のように展開されます。

特に、芸術の秋、スポーツの秋の9月~11月の3ヶ月間はコア期間として、事業が集中します。

そして、12月3日には再度中韓を招いて「秋の式典」を開催し、フィナーレへと向かいます。

時期	イベント内容
9月	武道シンポジウム、記念大茶会、障害者芸術祭、伊豆文学祭(仮称)、観光演劇(伊豆の踊り子)、文化財オートムフェア、大学コンソーシアム研究フォーラム
10月	静岡国際オペラコンクール、全国超老芸術展、富士山絵伝、日本平文化ゾーンイベント、茶草場農法認定10周年記念事業、日中韓サッカーアカデミー、ジャパンMTBカップ
11月	ショートフィルムフェスティバル、民俗芸能フェスティバル、三霊山シンポジウム、ガストロミーツーリズムフォーラム、花博20周年イベント、大道芸ワールドカップ

8 さいごに (基本理念・事業理念)

東アジア文化都市は1年限りのお祭りではありません。東アジア文化都市の基本理念を行政がしっかり理解し、主催者には理念のための行動が求められることを肝に銘じて下さい。

【基本理念】

東アジア文化都市は欧州文化首都の理念を理想に創設されたことを踏まえ、文化で東アジアの平和を希求し、人々の豊かさ、幸福を目指すことを意識すべし。

- ①世界の協調・共生と平和の希求 (欧州文化首都の理念をつなぐ)
- ②都市の魅力、住民の豊かさの創出 (文化を都市づくりの源泉とする)
- ③ローカル外交の再促進 (Think globally, Act locally!)
- ④アフターコロナ時代の交流の復活 (インバウンド、観光の再興)
- ⑤持続可能社会の創造 (SDG'sの推進、大阪万博へつなぐ)

【行動理念】

事業主催に当たり、基本理念の実現に向け、自分達で変える、レガシーを残す意識に改革すべし。

- ✖ 主催事業を、どう東アジア文化都市と連携するか? (✖ 参加意識)
- ◎ 東アジア文化都市として、自らどう振る舞うべきか? (◎ 主催意識)

事例)

- ①富士・箱根・伊豆国際学会(五條堀会長)
⇒2023年は例年のフォーラムの時期、企画を変え、東アジアDNA一色で伊豆から情報発信
- ②天竜浜名湖鉄道(松井社長)
⇒イベント列車を文化講座とし、列車ヘッドマークを東アジアロゴに、掛川駅を東アジア文化都市駅にして発車式を実施